

一般社団法人 日本気象予報士会

北海道～沖縄まで全国の気象予報士
約3,300名が会員です。

支 部

全国に広がる支部を8つの地域ブロックに分け、関係機関と連携し、地域に密着した活動を展開しています。また、支部間の交流も活発に行っています。

北海道

北海道支部

東 北

東北支部

関 東

北関東支部、埼玉支部、千葉支部、東京支部、神奈川支部、山梨支部

北信越

新潟支部、北陸支部、長野支部

東 海

東海支部、静岡支部

近 畿

関西支部

中国・四国

山陰支部、岡山支部、広島県支部、四国支部

九州・沖縄

西部支部、鹿児島支部、沖縄支部



全国の各支部が、
各々地元の気象台と連携して活動しています。

日本気象予報士会求人(2024年9月～2025年8月)

- 気象情報通信株式会社
 - 株式会社日本気象コンサルティング・カンパニー
 - 株式会社サニースポット
 - 一般社団法人日本気象環境機関
 - 株式会社アース・ウェザー
 - 札幌総合情報センター株式会社
 - 青山シビルエンジニアリング株式会社
 - 株式会社フランクリン・ジャパン
-
- 毎年、一定数は継続して求人案内がある
 - 関東圏が多めだが、近年はリモートワーク可能も
 - 正社員・契約社員・講師募集・取材依頼など様々

日本気象予報士会求人(業務内容)

- 気象予報業務(特定顧客向け)、コンサル
 - 気象解説業務(ラジオ、テレビ等にキャスター出演)
 - 放送局向け原稿、図の作成
 - 気象海象データ分析、評価整理、顧客への提供
 - WEB作成、SNS発信
 - 気象予報士資格講座のテキスト作成、リモート講義
 - 科学館等の展示解説、案内
-
- 近年はWEB作成・SNS発信業務なども
 - 気象観測・予報は、休日出勤・夜勤ありが基本
 - 天気図作画や原稿作成、メディア出演は継続

日本気象予報士会求人(条件、待遇)

- 日本気象予報士会宛なので、基本は気象予報士有資格が前提だが、明記されていない求人もあり
- 基本PCスキル(Word・Excel)は必須が多く、あれば望ましいスキルとしてExcelマクロやプログラミングも
- 普通自動車免許(AT可)が必須の求人もちらほら
- 学歴条件(大卒など)はほとんどなし
- 実務経験優遇が目立つが、新規歓迎も増えてきた
- 待遇:22~40万円/月、時給制、賞与有無も様々

➤ 気象予報士資格は断然有利

➤ +αで使えるスキルは近年重要視されている印象

➤ 待遇は一般的な業界と大きく変わらない印象

気象業界への就職について(個人の経験談)

- 気象業界内の選択肢(気象庁職員・研究職・民間企業・キャスター等)を知り、方向性を定めることが重要。
- ✓ イベント、コミュニティに参加して繋がりを作っておくと、ネット等では収集できない実情等を得られる可能性あり。
- 気象予報士資格は必須ではないところが多いものの、大きな武器にはなる。採用プロセスは基本的に他業界と同様。
- ✓ 特に新卒採用は、気象業界用の特別な対策は少ない。気象予報士資格は目立って優遇されることは少ないため、“資格だけ”では難しいが、自己PRの大きな武器にはなる。
- 気象業界の新卒の受け皿は少ない。どうしても気象の仕事がしたいなら、新卒にこだわらないのも一つの手と考える。
- ✓ 気象に関わる仕事で新卒募集をしている会社は数えるほど。近年、気象だけでなくプログラミング・コンサルティング等の能力も重要視されてきており、スキルを磨いて転職も1つか。